

2010年6月22日
株式会社日立製作所

プライベートクラウドの導入迅速化を図ったパッケージ 「Harmonious Cloud Packaged Platform」を提供開始

サーバ、ネットワーク、ストレージ、ソフトウェア、導入サービスなどをセットにして提供

株式会社日立製作所(執行役社長 中西 宏明/以下、日立)は、このたび、高信頼、高セキュリティなクラウドコンピューティング環境を実現するソリューションである「Harmonious Cloud」において、ユーザー企業内におけるプライベートクラウドの導入の迅速化を図るため、サーバ、ネットワーク、ストレージ、ソフトウェア、導入サービスなどをセットにしたパッケージ「Harmonious Cloud Packaged Platform」(ハーモニアス・クラウド・パッケージド・プラットフォーム)をラインアップに追加し、6月30日から提供開始します。

IT 資産の有効活用、柔軟なシステム運用などクラウドコンピューティングの利点が広く認知されるようになった一方、ユーザーからは、顧客の個人情報、営業機密、先端の技術情報など重要なデータを社外に置けないといった声も聞こえます。このため、企業内に高信頼かつ安心できるクラウド環境を構築するプライベートクラウドの関心が高まっています。

日立では、2009年10月30日に「プライベートクラウドソリューション」をメニュー化し、ユーザーのプライベートクラウドの計画立案、設計・構築、運用・保守を支援してきました。その中で、企業内システムのクラウド化に向けたパイロット(試験)導入や、企業内システムでのクラウドの即活用などの目的で、短期でプライベートクラウドを導入したいというユーザーニーズが出てきています。

「Harmonious Cloud Packaged Platform」は、典型的な構成のプライベートクラウドの導入を迅速化するために、システム検証済みのサーバ、ネットワーク、ストレージなどのハードウェア、運用管理関連のソフトウェア製品群、ユーザーのニーズに応じた仮想化機構と、それらを導入するサービスを組み合わせたパッケージです。通常のプライベートクラウドでは、詳細設計や検証などの導入前の事前準備に数カ月かかり、機器搬入からシステム稼働までにハードウェアの設定やソフトウェアのインストール・設定を行うのに数週間かかるのが一般的でした。「Harmonious Cloud Packaged Platform」では、構成が決まったプライベートクラウドのパッケージとして提供するため、約3週間程度に短縮^(*)することも可能です。また、ハードウェアの設定、ソフトウェアのインストール・設定が完了しているため、搬入当日からの稼働^(*)も可能です。

*1 ユーザーの要件、環境などにより、期間が変わることがあります。

「Harmonious Cloud Packaged Platform」により、企業内システムのプライベートクラウド化に向けたパイロット導入を迅速、かつ、容易に開始することができます。また、プライベートクラウドを短期で導入することで、顧客管理、人事管理、収益管理などの既存システムの集約を推進し、即効性のあるコスト削減が可能です。

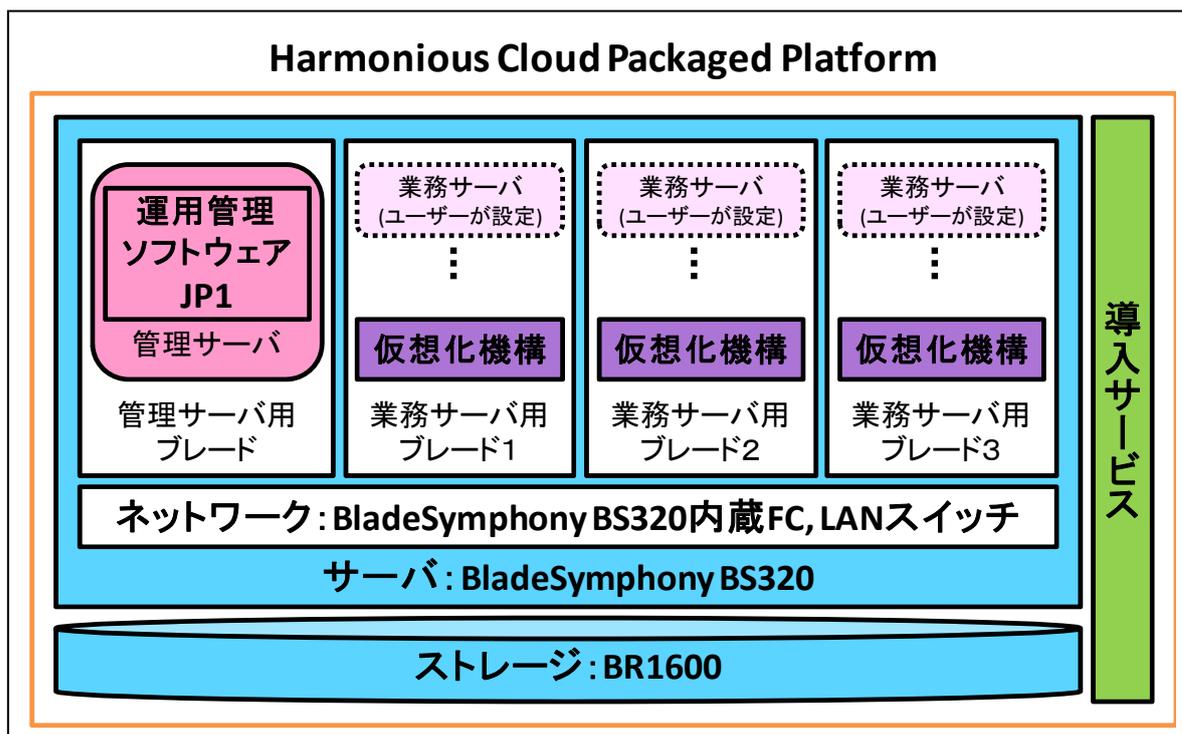
なお、「Harmonious Cloud Packaged Platform」は、オプションで各種機能・機器を追加して、ユーザーの要件に合わせた構成にしていくことも可能です(*2)。また、Harmonious Cloud センタ(*3)のノウハウを活用した運用支援ツールと操作マニュアルを提供し、導入後のプライベートクラウドの運用を容易化します。

*2 「Harmonious Cloud Packaged Platform」でサポートしている範囲内で、構成を選択可能。

*3 Harmonious Cloud センタ: 日立の環境配慮型データセンタ内に構築したクラウドサービス提供の拠点。クラウドサービス向けの機器を設置、運用するとともに、ユーザー企業のアプリケーションやパッケージのクラウドコンピューティング環境での検証を専門技術者が支援する。

日立は、「Harmonious Cloud Packaged Platform」をプライベートクラウドの重要な要素として位置づけており、今後も企業ユースからデータセンタ向けまで様々な規模のクラウドへのニーズに応えるソリューションを開発していきます。

■「Harmonious Cloud Packaged Platform」のシステムイメージ



■価格および提供開始時期

パッケージ名	主な仕様		標準価格	提供開始時期
Harmonious Cloud Packaged Platform	サーバ	BladeSymphony BS320 ・ブレード数:4ブレード (1ブレードは管理サーバ用) ・CPU 種別:インテル® Xeon® プロセッサー ・メモリ容量:48GB/ブレード	2,377万円～ (税抜:2,264万円～)	6月30日
	ネットワーク	BladeSymphony BS320 内蔵品 ・FC スイッチ:2台 ・LAN スイッチ:2台		
	ストレージ	BR1600 ・ディスク種別:SAS 600GB ・ディスク台数:7台 ・RAID 構成:RAID6 ・ボリューム容量仮想化機能		
	仮想化機構	下記から選択可能 ・Virtage ・VMware vSphere™ 4 ・Hyper-V™ (計画中)		
	運用管理ソフトウェア	JP1 ・JP1/ServerConductor/ BladeServerManager ・JP1/ServerConductor/ DeploymentManager		
	導入サービス	・ハードウェア機器設定 ・ソフトウェアのインストール、設定 ・トレーニング ・運用支援ツール(Virtage 用) ・操作マニュアル		

(注)ブレード数、CPU 種別、メモリ容量、ディスク種別、ディスク台数の構成を選択可能。

オプション機能	主な仕様	標準価格	提供開始時期
稼働監視	・JP1/Cm2/Network Node Manager i ・ソフトウェアのインストール・設定サービス	104万円～ (税抜:99万円～)	6月30日
リソース監視	・JP1/Performance Management ・ソフトウェアのインストール・設定サービス	134万円～ (税抜:127万円～)	
自動運用	・JP1/Automatic Job Management System 3 ・ソフトウェアのインストール・設定サービス	163万円～ (税抜:155万円～)	
バックアップ	・JP1/VERITAS NetBackup ・ソフトウェアのインストール・設定サービス	610万円～ ^(※4) (税抜:581万円～)	

*4 システムの構成によって、価格が変わることがあります。

■ 日立のクラウドソリューション「Harmonious Cloud」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>

■ 展示会への出展予定について

日立は、2010年7月22日～23日に東京国際フォーラムで開催する「日立 uVALUE コンベンション 2010」において、今回発表した「Harmonious Cloud Packaged Platform」をはじめとした日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」についてご紹介します。

■ 「日立 uVALUE コンベンション 2010」オフィシャルサイト

<http://hitachi-uvcon.com>

■ 他社所有商標に関する表示

- ・インテル、Xeon は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- ・VMware、VMware vSphere は、米国およびその他の国における VMware, Inc. の登録商標または商標です。
- ・Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 プラットフォームソリューション事業部
〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目 26 番 3 号(大森ベルポート D 館)

お問い合わせフォーム：<http://www.hitachi.co.jp/pss-inq/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
